

安全データシート (SDS)

作成日 2017年 8月01日

改定日 年 月 日

1. 製品等及び会社情報

製品名(商品名等) : L S しょくいテープ

会社情報

販売元 : 日東エルマテリアル株式会社

住所 : 532-0011大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3-24
サムティ新大阪センタービル5階

担当部門 : 製品管理部 品質保証グループ

電話番号 : 06-6101-0771 FAX番号 : 06-6101-0775

2. 危険性有害性の要約

GHS分類 : 分類対象外、区分外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル : なし

3. 組成、成分表

単一製品・混合物の区分 : 成型品

(該当する製品は成型品(Article)であり、公的にSDSが要求される化学製品ではありません。)

| 構成部位 | 化学物質名等 | 各構成部位 比率 (%) | 官報公示整理番号 | |
|-------------------|--------------------|-----------------|----------|-----|
| | | | 化審法 | 安衛法 |
| 漆喰層 | 合成樹脂類 | 15-25 | - | |
| | 水酸化カルシウム | | (1)-181 | |
| | 二酸化チタン | | (1)-558 | |
| | その他構成成分 | | - | |
| 不織布 | ポリエチレンテレフタレート(PET) | 10-20 | (7)-1022 | |
| | 合成樹脂類 | | - | |
| | その他構成成分 | | - | |
| 粘着剤 | アクリル酸エステル共重合体 | 15-25 | - | |
| | その他構成成分 | | - | |
| 剥離紙 (マトリクスタイプ) | セルロース | 40-50 | - | |
| | シリコーン | | - | |
| | ポリエチレン | | (6)-1 | |
| | その他構成成分 | | - | |

化学物質排出把握管理促進法(第1種、第2種指定化学物質)

: 該当なし

労働安全衛生法(表示、通知対象物質)

: 通知物質: 水酸化カルシウム、40%以下

: 通知物質: 酸化チタン(IV)、15%以下

毒物及び劇物取締法(毒物、劇物)

: 該当なし

※上記含有率は、各構成部位に対する値。

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 粉じんを吸入した場合、清浄な水で喉を洗い、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹸で十分に洗浄する。皮膚にかぶれ等の症状が出た場合には、医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 速やかに大量の流水で洗い、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させ、清浄な水で口の中を洗浄し、医師の診断を受ける。
- 最も重要な徴候及び症状 : 情報なし
- 応急処置をする者の保護 : 粉じんを吸入しないよう、呼吸用保護具を着用すること。
- 医師に対する特別注意事項 : 情報なし

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 水、泡消火器、ABC消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 不完全燃焼した場合、一酸化炭素等の有害ガスを発生する可能性がある。
- 特有の消化方法 : 消火作業は風上から行い、状況によっては呼吸用保護具を着用する。
- 消化を行う者の保護 : 必要に応じ、呼吸用保護具、保護メガネ等を用いる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 常態で固形物のため、漏出することはない。
- 保護具及び緊急時措置 : 常態で固形物のため、漏出することはない。
- 環境に対する注意事項 : 常態で固形物のため、漏出することはない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 常態で固形物のため、漏出することはない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 加工中、静電気を発生することがあるので、静電気除去装置を必要な場所に適宜設置する。
- 局所排気・全体換気 : 加工時に粉じん等が発生する場合は、換気を良くすること。
- 注意事項 : 静電気による放電が起きないように、静電気除去装置により積極的に取り除く。
- 安全取扱注意事項 : 漆喰層表面が長時間水に濡れた場合、強アルカリ性の成分が溶出する可能性があります
加工時に粉じん等が発生する時は部分的な換気を実施する。必要に応じて、防じんマスクや保護メガネ等を着用する。
ロール状物は重量物になるため、転倒防止や落下防止を施す。
- 衛生対策 : 作業中は、周辺で飲食、喫煙を行わないこと。

保管

- 技術的対策 : 特別な注意事項はなし
- 混触禁止物質 : 特別な注意事項はなし
- 保管条件
- 適切な保管条件 : 常温、常湿の室温で保管する。
- 避けるべき保管条件 : 直射日光、高温、高湿での保管を避ける。火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 一般的な包装材料を使用する（紙またはダンボール包装など）

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 管理濃度・許容濃度 | : データなし |
| 設備対策 | : 加工時に粉じん等が発生する時は部分的な換気を実施する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器用保護具 | : 必要に応じて粉じん用マスク等を着用する。 |
| 手の保護具 | : 必要に応じて保護手袋等を着用する。 |
| 眼の保護具 | : 必要に応じて保護メガネ等を着用する。 |
| 皮膚及び体の保護具 | : 一般作業着、安全靴を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------|----------------|
| 形状 | : ロール状又はシート状固体 |
| 色 | : - |
| 臭い (臭いの閾値) | : 特になし |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点・沸点範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の 上限/下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : 対象外 |
| 比重 (相対密度) | : データなし |
| 溶媒に対する溶解度 | : 水に不溶 |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| その他 | : 可燃性 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|---------------|---|
| 安定性、化学的安定性 | : 大気中で炭酸ガスを吸収し、炭酸カルシウムとなる。水の存在下で金属腐食性を呈し、水素を生成する。 |
| 避けるべき条件 | : 可燃性のため、火器厳禁 |
| 特定条件下で生じる危険有害 | |
| 反応可能性 | : データなし |
| 混触禁止物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : 酸化カルシウム |

11. 有害性情報

| | |
|-------------|-------------------------|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 人によっては、かぶれ等が生じる場合がある。 |
| 目に対する重篤な損傷 | |
| ・刺激性 | : データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚 | |
| ・感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器/全身毒性 | |

| | |
|-------------|-------|
| (単回暴露) : | データなし |
| 特定標的臓器/全身毒性 | |
| (反復暴露) : | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 : | データなし |

1 2. 環境影響情報

| | |
|-------------|-------|
| 残留性/分解性 : | データなし |
| 生体毒性 : | データなし |
| 生体蓄積性 : | データなし |
| 土壌中の移動性 : | データなし |
| オゾン層への有害性 : | データなし |

1 3. 廃棄上の注意

| | |
|-----------|--|
| 残余廃棄物 : | 地方条例に基づいて、産業廃棄物として処理する。 産業廃棄物処理認定業者と委託契約を結び、外部処理を行う。 焼却処理をする場合は、大気汚染防止法、廃棄物処理法等の諸法令に 適合した設備・方法を使用して処理を行う。 |
| 汚染容器、包装 : | 包装材を廃棄する場合においても、地方条例に基づいて処理する。 |

1 4. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|-------------|-------|
| 国連分類 : | 該当しない |
| 国連番号・国内規制 : | 該当しない |
| 陸上輸送 : | 該当しない |
| 海上輸送 : | 該当しない |
| 航空輸送 : | 該当しない |

※項目7の「取扱い及び保管上の注意」に従う。転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

| | |
|--------------------------|---------------------|
| 労働安全衛生法 : | 項目3の「組成及び成分情報」を参照 |
| 化学物質排出排出把握管理促進法 : | 項目3の「組成及び成分情報」を参照 |
| 消防法：指定可燃物 : | 該当（合成樹脂類、3,000kg以上） |
| 有機溶剤中毒予防規則 : | 非該当 |
| 化学物質の審査及び製造の規制に関する法律 : | 非該当 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : | 該当 |
| 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : | 非該当 |
| 水質汚濁防止法（有害物質） : | 非該当 |
| 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律 : | 非該当 |
| 船舶安全法 : | 非該当 |

| | |
|-----------|--|
| 航空法 | : 非該当 |
| 輸出貿易管理令 | : 別表第1の1項～15項までは非該当(対象外) 別表第1の16項は関税定率法第39類 |
| キャッチオール規制 | : 「プラスチック及びその製品」に該当 |

16. その他の情報

- ①危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱には十分ご注意ください。
- ②記載内容は、現時点で入手できる情報に基づいて作成していますが、含有率、物理化学的性質は保証値ではありません。
- ③注意事項は通常の手扱を対象としており、特殊な取扱の場合は用途・用法に的した安全対策を実施してください。